

■その他野菜の殺虫剤・殺菌剤(アスパラガス・いちご)

作物名	処理方法	毒性	予防/治療	系統名	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓあたり 使用薬量	使用時期 (収穫前日数)
アスパラガス	茎葉 散布	-	予治	Qoi	アミスター20フロアブル	2,000倍	50ml	前日
		-	予治	SDHI	アフエットフロアブル	2,000倍	50ml	前日
		-	予	グアニジン	ベルコート水和剤	1,000倍	100g	7日前
		-	予	有機塩素	ダコニール1000	1,000倍	100ml	前日
		-	予	有機塩素	ダコニールエース	1,500倍	66ml	
		-	予治	Qoi	ファンタジスタ顆粒水和剤	3,000倍	33g	前日
		-	予	銅	クプロシールド	1,000倍	100ml	-
		-	予	その他	フロンサイドSC	2,000倍	50ml	収穫終了後 但し秋期まで
		-	予	有機硫黄	グリーンペンコゼブ水和剤	500倍	200g	収穫終了後 但し秋期まで
		-	予	有機リン	リゾレックス水和剤	500倍	200g	収穫後～ 茎葉刈取期但し 収穫14日前まで
		劇	-	有機リン	エルサン乳剤	1,000倍	100ml	3日前
		-	-	合ピレ	アディオソ乳剤	2,000～3,000倍	33～50ml	前日
		-	-	ネオニコチノイド	ダントツ水溶剤	2,000～4,000倍	25～50g	前日
		劇	-	呼吸阻害	コテツフロアブル	2,000倍	50ml	前日
		-	-	スピノシン	ディアナSC	2,500～5,000倍	20～40ml	前日
		-	-	ネオニコチノイド	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	50g	前日
		-	-	ジアミド	プレバソソフロアブル5	2,000倍	50ml	前日
		-	-	マクロライド	アファーム乳剤	2,000倍	50ml	前日
		劇	-	ピレスロイド	ゲットアウトWDG	3000倍	33g	前日
		-	-	スピノシン	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	20g	前日
いちご	土壌 混和	劇	-	土壌殺菌	ガスタード微粒剤	20～30kg/10a		仮植又は 定植21日前
		-	-	Qoi・その他	ユニフォーム粒剤	10kg/10a		定植時
		-	-	ネオニコチノイド	スタークル粒剤	植穴:0.5～1g/株		定植時
	散布	-	予治	Qoi	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000倍	50g	前日
		-	予	グアニジン	ベルコートフロアブル	2,000～4,000倍	25～50ml	前日
		-	予治	SDHI	アフエットフロアブル	2,000倍	50ml	前日
		劇	-	ネオニコチノイド	モスピラン顆粒水溶剤	2,000～4,000倍	25～50g	前日
		-	-	スピノシン	ディアナSC	2,500～5,000倍	20～40ml	前日
		-	-	その他	ファインセーブフロアブル	1,000～2,000倍	50～100ml	前日
-	-	マクロライド	コロマイト水和剤	2,000倍	50g	前日		

回数 以内	適用病害虫名													防除上の注意事項		
	茎 枯 病	斑 点 病	立 枯 病	萎 黄 病	疫 病	炭 疽 病	灰 色 か び 病	う ど ん こ 病	ジ ュ ウ シ ホ シ ク ビ ナ ガ ハ ム シ	ア ブ ラ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ	ア ザ ミ ウ マ 類		ハ ダ ニ 類	ネ ギ ア ザ ミ ウ マ
4	●	●														・浸透性の高い展着剤の使用は葉害を生じる場合があるので、事前に適否を確認する。
4	●	●														・褐斑病にも登録あり
5	●	●														・褐斑病にも登録あり
4	●	●			●											・同一成分のため総使用回数に注意する。 ・ダコニール1000は褐斑病にも登録あり。
3	●	●														・褐斑病にも登録あり
-	●	●														
5	●	●														露地栽培のみ使用
6	●	●														露地栽培のみ使用
3	●		●													・立茎栽培の夏芽収穫期間中は使用できない ・立枯病は、株養成期(は種又は定植時から茎葉刈取り期まで)但し、収穫14日前まで
2									●							
3									●	2,000		2,000				・カメシ類にも登録あり。
3									●	●				●		・カメシ類にも登録あり。
2									●		●	●		●		・オオタバコにも登録あり。
2									●		●		●			・コナジラミ類、オオタバコにも登録あり。
3									●				●			・コナジラミ類、カメシ類にも登録あり。
3										●						
2											●	●				・オオタバコにも登録あり。
3												●				
2													●			・浸透移行性が少ないので、薬液が十分かかるように散布する。
1					●	●	●									・土壌を耕起整地した後、本剤の所定量を均一に散布し深さ15～25cmに土壌と混和する。 ・混和後、ビニール等で被覆しハウスを密閉する。10～14日間で被覆を除去し2回以上耕起しガス抜きする。
1						●										
1										●						
3								2,000	●	●						
5								2,000	●	●	●					・輪斑病、黒斑病にも登録有り
3									●	●						・輪斑病にも登録有り
2										●			2,000			・コナジラミ類に2,000倍で登録あり。
2											●	●				・コナジラミ類に2,500倍で登録あり。
3												●				
2														●		・汎用性展着剤以外との混用は避ける。